

葛飾区SDGs宣言書

宣言日

2026 年

8 月

17 日

事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿											
障害がある方の尊厳と人権を守り、地域から深く信頼される高品質で安心・安全な福祉サービスを提供し続けます。デジタル化や環境配慮（省エネ・省資源）を取り入れたサステナブルな施設運営を実践するとともに、職員一人ひとりが健康でやりがいを持ち、持続的に生き生きと働き続けられる『人・環境・地域に優しい福祉拠点』の実現を目指します。											
事業者等としてのねらい、特徴的な活動											
利用者様の権利擁護・法令遵守を徹底するとともに、感染症や災害発生時にも支援を途絶えさせないBCP（事業継続計画）の運用と定期訓練を推進し、危機管理とコンプライアンスが重なる強固な組織基盤を構築しています。また、LED化やペーパーレス・ゴミ分別による環境負荷低減の推進と、業務効率化を通じて残業削減や有休取得を促進し、「安心・安全な支援」「環境配慮」「職員の働きやすさ」の推進が一体となった事業運営を特徴としています。											
目指すSDGsのゴール（複数選択可）											
					☒						
	☒						☒				☒
							☒				
目標に関連する取組内容等											
ゴール	これまでの取組内容					2026 年12月31日までの取組目標					
3	職員の残業時間を削減し、有給休暇を取得しやすい環境づくりを行ってきました。					ICTツールの本格運用により、月平均の残業時間を3.6時間以下にし、前年度の有給休暇取得日数から5%以上に引き上げます。					
12	事業所内でのペーパーレス化に向けて、裏紙の利用やゴミの分別を徹底してきました。					ケア記録システムの順次移行により、事業所内で使用するコピー用紙の量を前年比10%削減します。					
7	館内・事務所内の照明器具を蛍光灯から省エネ性能の高いLED照明へ順次切り替えを進めてきました。					東京都のゼロエミッション化補助金を活用して高効率な最新空調設備への更新を完了させ、施設全体の電気使用量およびCO2排出量を前年比1%削減します。					
16	感染症、自然災害などの発生に伴う事業中断を想定し、利用者様の安全確保と迅速な支援再開・継続を可能とするBCP（事業継続計画）を策定してきました。					策定したBCPIに基づき、防災・感染症対応訓練およびBCP研修を年1回以上定期実施し、非常時における実効性のある対応力を維持・定着させます。					
10	全職員を対象に、権利擁護や虐待防止、コンプライアンスに関する研修を定期的実施し、利用者の人権を尊重した適切な支援の徹底に努めてきました。					年1回以上の虐待防止・権利擁護研修（外部講師や外部研修含む）を実施することで、人権侵害・不祥事ゼロに向けた体制作りを継続・定着させます。					

1	事業者等の名称	社会福祉法人手をつなぐ福祉会									
2	業種	12. 医療・福祉業									
3	従業員（構成員）数	163									
4	代表者 職・氏名	職	理事長				氏名	前田 正憲			
5	所在地	〒	1250062		住所	東京都葛飾区青戸8-24-27					
6	ホームページURL	https://tefuku.or.jp/wp/									